

参院選で共産党が山添拓氏ら4議席 公約実現、改憲ストップへ全力



◀報告の後、聴衆の声援にこたえる（左から）小池晃書記局長と岩渕友、田村智子、山添拓、仁比聡平の各当選者 11日、新宿駅西口

第26回参院選挙は10日投開票され、東京選挙区で山添拓氏が68万5千票を獲得し、3位で当選しました。日本共産党は、比例代表で361万8千票を獲得（得票率6.8%）し3議席を確保し、田村智子、岩渕友の両現職、元職の仁比聡平氏が当選を果たしました。沖縄では「オール沖縄」の伊波洋一氏が当選しました。4氏は11日、小池晃書記局長とともに、新宿駅前では報告の街頭演説をしました。

小池氏は 4議席獲得に感謝を表明し、「民主主義を脅かすような動きが続くなか、党をつくって100年、自由と平和を貫いてきた共産党が頑張る時です。力を合わせてこの国の政治を変えていきましょう」と訴えました。

小池氏は、東京選挙区で山添氏が議席を獲得したことについて、「本当に幅広いみなさんに応援していただいたことが後押しになりました」と述べました。

比例代表では、3議席の獲得にとどまったことについて、「目標を達成できなかったことは非常に残念です。教訓を引き出して、捲土重来で頑張っていきます」と表明しました。

小池氏は、今回の選挙で訴えた、9条を生かした外交で東アジアに平和を創出する「外交ビジョン」、新自由主義を転換して「やさしく強い経済」をつくる「五つの提案」などの政策は、「どれも直ちに国政の熱い焦点になるものばかりです」と述べ、公約実現とともに、9条改憲ストップに全力を尽くすと表明しました。

田村氏は 消費税減税や雇用・賃金などの問題で政治の転換が必要だと強調。「ますます大きな運動を繰り広げ、ジェンダー平等社会の実現へ力を尽くします」と語りました。

山添氏は 「憲法が希望」と掲げてきたとして、改憲の動きに断固立ち向かうと表明。「暮らし、平和に憲法を徹底的に生かす政治を実現するために全力をあげる決意です」と力を込めました。

国会議員団と力を
合わせ、暮らしを
守る政治へ、私
もがんばります。

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2022年7月号外日本共産党東京都委員会の訴えを紹介します。
発行／東京民報社（港区芝1-4-9平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

自由と平和。まっすぐ、つらめく。
日本共産党